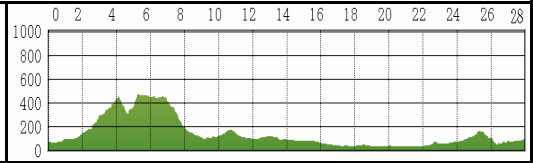


健康登山05:自然歩道03(善峰寺～清滝)

コース	灰方 3.0km/63 善峰寺 1.7km/41 三鈷寺 0.8km/28 杉谷 2.0km/38 金蔵寺 2.6km/43 大原野神社 3.5km/55 国道沓掛 3.3km/48 天皇社古墳 3.0km/44 松尾大社 1.3km/19 嵐山 5.2km/91 落合橋 1.6km/40 清滝	
水平距離	28.0km	断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km
水平換算距離	25.5km	
累計高低差	登り1160m、下り1121m	
標準歩行時間	8：31	
実績歩行時間	8：00	



山行報告

山行日	2005・10・06(木)	天候	晴	参加者	9名
行動	東向日駅8：14 灰方8：57 善峰寺9：51 三鈷寺10：17 杉谷10：50 金蔵寺11：28 大原野神社12：11～48 花ノ寺12：56 国道沓掛13：39 天皇の社古墳14：30 松尾大社 15：22 嵐山駅15：55 落合17：13 清滝17：38				

記録

今回のコースは社寺見学コースである。十輪寺、三鈷寺、善峰寺、金蔵寺、正法寺、大原野神社、花の寺、地蔵院、苔寺、華厳寺、松尾大社、法輪寺、二尊院、祇王寺、念仏寺など数え上げたら限がない。

登りは最初の善峰寺と三鈷寺だけ、とくに三鈷寺から往生院跡を通る杉谷への道は地元の人でないと歩けないところでHKさんとMYさんに案内してもらった。三鈷寺の庭は京都市内が一望できる絶景ポイントで、視力のよいIOさんによると花背の鉄塔や三上山が見えるとのこと。花背鉄塔までは27.8km、三上山は37.9kmある。

箕面から始まる東海自然歩道も今までは舗装道路をあまり歩かなかったが、今回は山麓の社寺を結ぶ車道歩きが大部分だった。休憩場所が少なく日陰になる適当な空地で休ませてもらった。真夏でなくてよかったと思った。こういう街歩きには登山靴よりウォーキングシューズの方が適している。

大枝は柿の産地で軒先販売の店が多い。また洛西の社寺は季節を選んでゆっくり歩きたいところである。松尾神社から自然歩道は二分するが山側のコースを通って嵐山に着いた。阪急嵐山駅で一次解散をし、HKさんとIOさんが帰られた。ここまででも水平距離21.7km、登り854m、下り890m、水平換算距離19.8kmでB山行である。

その後、1時間半ほど歩いて清滝で解散した。六丁峠の上のドライブウェイの橋梁に大きなスズメ蜂の巣があり蜂が飛び交っていた。落合からは沢沿いの道となり山歩きらしいよい締めくくりができたと思う。

試行錯誤を繰り返しながら健康登山をすすめています。普段より少し多めに歩いて健康づくりをしようと考えてゴールを二つ設けました。



自然歩道 (善峰寺～嵐山～清滝)



小塩山  
09:28

善峰寺へ  
09:42



三鈷寺から  
10:21

竹林の道  
11:59



正法寺前  
12:05

花の寺  
12:55



松尾大社  
15:22

嵐山から  
清滝へ向う  
16:00



嵯峨野の道  
16:13

六丁峠の  
蜂の巣  
17:00



名所・旧跡ミニガイド（東海自然歩道：小塩～嵐山～清滝）

- 十輪寺：在原業平が晩年ここに隠棲し母の伊登内親王を慰めるためや、終生の思い人である藤原高子（後陽成天皇の母となった人）に胸の思いを知らせるべく塩を焼き煙で知らせた。
- 三鈷寺：西山随一の眺望。二大仏（京都、奈良）と七城（京都、大阪、淀、大和郡山、高取、高槻、亀岡にあった城）背後の山が三鈷に似ているために三鈷寺と改称された。善峰寺の開山源山上人の草庵。
- 正法寺：鑑真とともに来朝した智威大徳の修禅場を起源にもち、勝持寺（花の寺）の49坊の一つとなった。
- 大原野神社：藤原氏の氏神。延暦3年（784）長岡京遷都のとき奈良春日大社の分霊を祀る。一条天皇の中宮藤原彰子の大原野社参の盛儀は有名。藤原高子もよくお参りに来た。
- 花の寺（勝持寺）：白鳳時代680年役の行者によって開かれたとされる。西行手植の桜他400本の桜あり。足利尊氏が六波羅攻めの途中立ち寄り『勝って待つ』は縁起がよいと喜んだという（太平記より）
- 大枝：大江とも書く。富有柿の産地と鹿の子絞りが特産。老の坂は大枝の坂が訛ったもの。
- 大枝神社：ここに居住した大江氏を祀る。大江氏のルーツは土師氏。
- 沓掛：丹波と山城の境で交通、軍事の要地。盗賊の巢窟であったり、保元の乱の処刑地でもあった。近くに首塚大明神がある。源の頼光に退治された酒吞童子の首を祀るといふ。
- 大江関跡：平安から江戸期、京都四境の一つとして大江関がおかれた。
- 桓武天皇御母御陵：桓武天皇の母高野新笠は土師氏の出身であるのでこの生地に陵墓がある。高野新笠は百濟帰化人高野乙継（父）と土師真妹（母）の間に生まれる。
- 天皇の社古墳：昭和63年発掘、全長86mの前方後円墳。文徳天皇の菩提を弔う真如院と混同されてこの名がある。
- 竹の寺（地蔵院）：竹林は幽玄の趣をたたえており、自然と一体となった優れた景観をかもしだしている。また一休禅師が幼少の頃修行した寺としても知られる。
- 苔寺（西芳寺）：聖武天皇の詔勅により行基が開山。庭には120種類の苔がある。
- 鈴虫寺（華厳寺）：3500匹の鈴虫、年中鈴虫の音色が響く。入口のお地蔵さんはどんな願いも一つだけは叶えてくれるという幸福地蔵。

月読神社：月読尊を祀る。487年阿閉臣事代<sup>あべのおみことしる</sup>が朝鮮半島<sup>みなま</sup>任那の国へ派遣される途中壱岐で月読神があらわれ自分を祀れと言ったので帰京後に祀り、占いに長じる壱岐氏の祖先が祭祀となり祖神とした。神后皇功ゆかりの\*身延石は安産の信仰あり（\*五世紀後半欽明天皇が神託で求め神社に法のしたもの）

松尾大社：境内の亀の井の霊水を酒に混ぜると酒が腐らないといわれている。中世以後酒の神として有名。（山城三社 加茂大社、松尾大社、稻荷大社）

薬師禅寺（はしご地蔵）：寝小便と下の病気を治してくれる。歳の数だけの段数がある『はしご』を奉納する風習がある。（高所にあるため）

法輪寺（虚空像さん）：十三歳でお参りすると知恵が授かる。

常寂光寺：秀吉の東山大仏の開眼千僧供養を拒否した日蓮宗本圀寺 16世日禎はこの地に隠居し寺に改めた。

二尊院：木造釈迦如来像と木造阿弥陀如来像（共に鎌倉）の二尊を本尊とすることからその名がついた。

祇王寺、滝口寺：ともに『平家物語』ゆかりの寺。清盛に捨てられた祇王や仏御前、そして横笛との仲を裂かれた滝口入道がひっそりと暮らしていた所。横笛は入水自殺、一説では出家したという、また滝口寺は往生院とも言い、新田義貞の寵姫匂当内侍が京都で晒された義貞の首を往生院に葬ったという。

後亀山天皇陵：明徳3年（1392）南北朝合一により吉野から帰洛して、この地で隠棲された。

化野念仏寺：昔は風葬の地。野ざらしになっていた無縁仏を空海が如来寺を建て供養した。後に法然上人が念仏道場を開き今日に至る。8000躰余りの石仏があり、8月の千灯供養は有名。

鳥居本：愛宕参詣道の表参道入口。一の鳥居前の門前町として栄えたという。

六丁峠：落合橋に至る途中の峠まで鳥居本から六丁あるため。峠から落合橋までも約六丁ある。ちなみに一の鳥居から試峠まで六丁あり、さらに六丁下ると清滝に至る。

落合書物岩：清滝川と保津川が合流する地点。本を積み重ねたような岩は書物岩。映画やTVのロケによく使われている。昔は舟遊びで賑わい料亭もあったところ。

清滝：鳥居本から愛宕神社へ至る表参道は五十丁（5.5キロ）あり、清滝は十二丁目にあたる。伊勢の五十鈴川のように人々はまず清滝川で身を清めてから愛宕山に向った。清滝は水垢離場であり、また茶屋や宿屋が立ち並ぶ宿場であった。参道の一丁毎に茶屋や宿屋があった。（明治まで31軒、昭和初期18軒、昭和50年10軒）